

User Manual

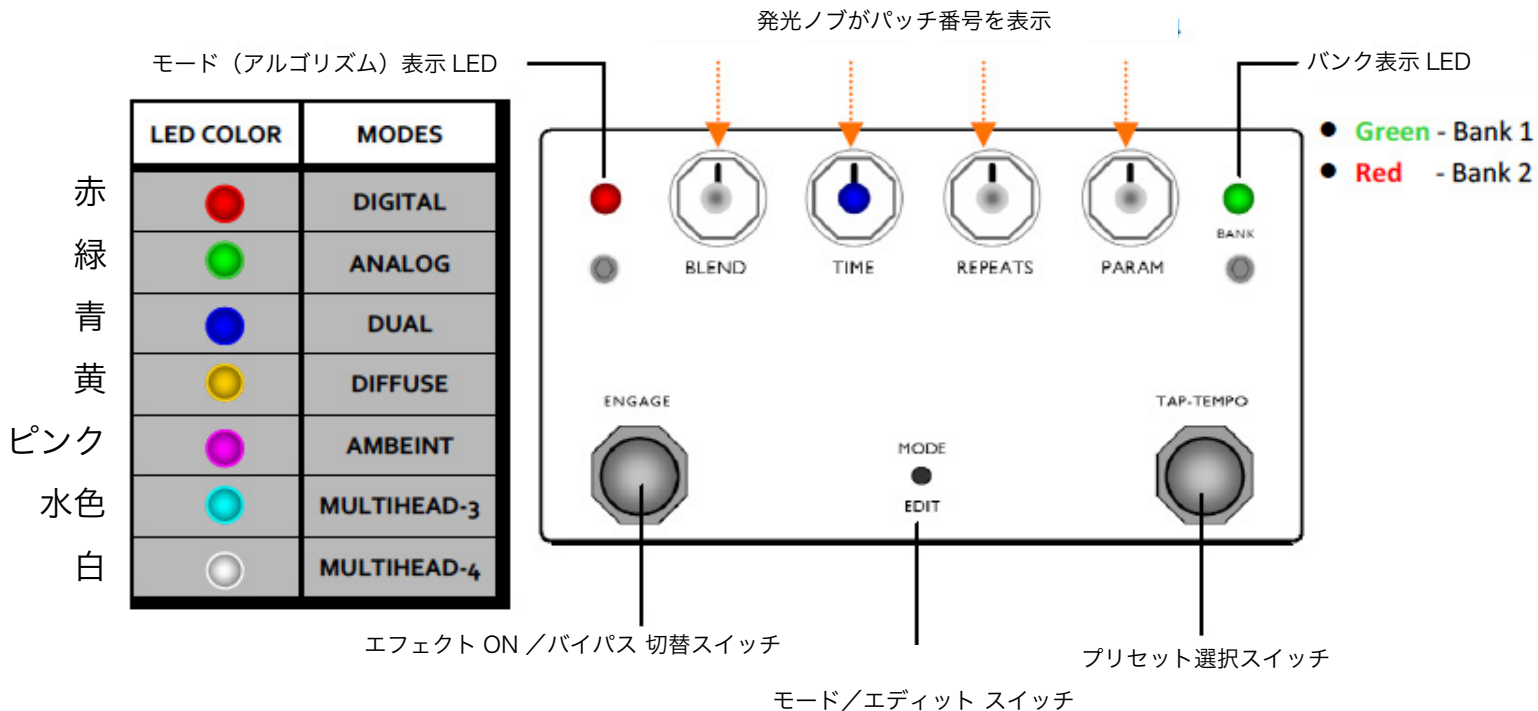
CLOCKWORK V3

D E L A Y

Clockwork V3 に追加された機能。

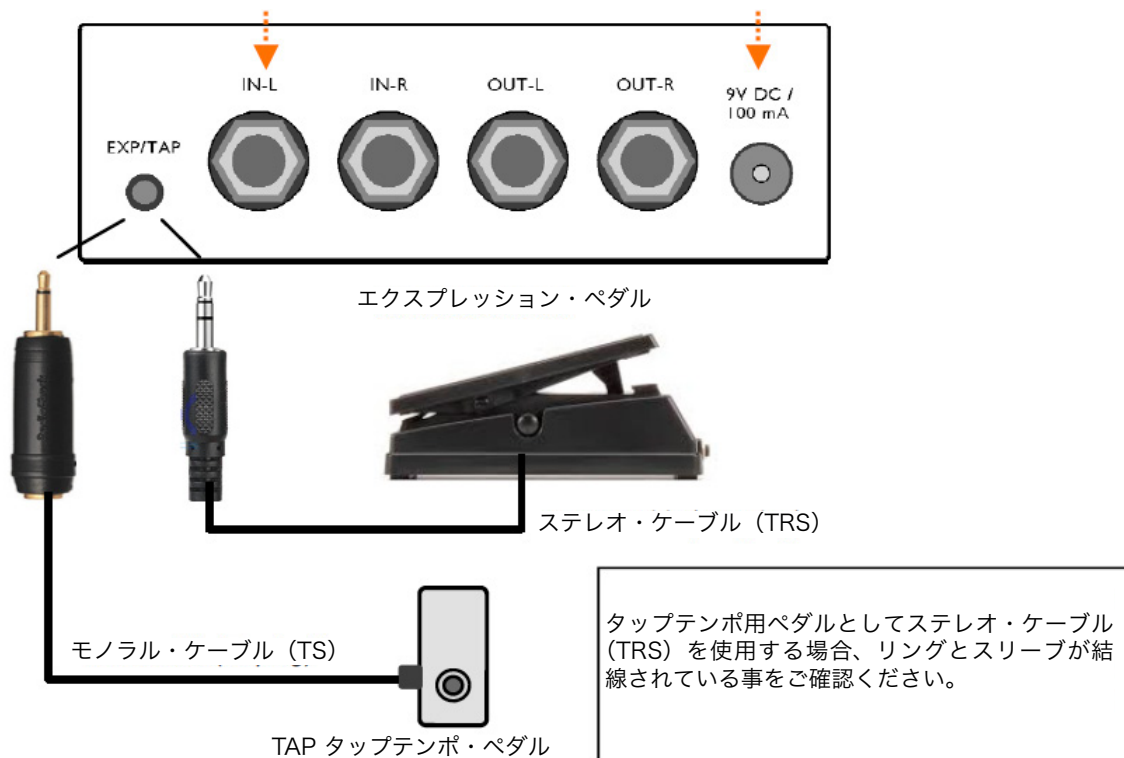
- ・ エクスプレッション・ペダル&タップテンポ入力。
- ・ キルドライ機能。
- ・ プリセット方式をアルゴリズムから独立。アルゴリズムの種類にかかわらず任意のプリセットに保存可能になりました。
- ・ 2つの新アルゴリズム「Dual」と「Diffuse」を追加しました。
- ・ マルチカラーLEDによるアルゴリズム表示
- ・ 即座にタップテンポ機能へのアクセスが可能になりました。

■ コントロールパネル



モノラル入力： モノラルで使用する場合は、この入力を使用します。

電源アダプター接続端子： 2.1mm / センター・マイナス



■ バイパスと、エフェクト ON を切り替える

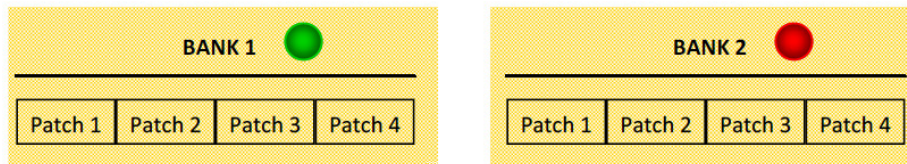
「Engage」を1回押します。

■ モード

「Modes / Edit」を押して、7つのモード / アルゴリズムの中から選択します。

■ プリセット

4 パッチ x2 バンクの合計 8 プリセットを保存可能。



■ プリセットをセーブする

1. 「Tap Tempo」を長押しすると Tempo 表示 LED の点滅が止まります。
2. セーブしたいプリセットに辿り着くまで「Tap Tempo」を押します。
3. Preset LED が 3 回点滅するまで「Engage」を長押しして、プリセットをセーブします。

■ プリセットをロードする

1. 「Tap Tempo」を長押しすると Tempo 表示 LED の点滅が止まります。
2. ロードしたいプリセットに辿り着くまで「Tap Tempo」を押します。
3. 「Engage」を押して、プリセットをロードします。

選択中、プリセットは「Tap Tempo」を押すごとに昇順 (1 → 2 → 3...) で変化していきます。
「Engage」を押すまでサウンドは適用されません。

■ Spillover (スピルオーバー) :

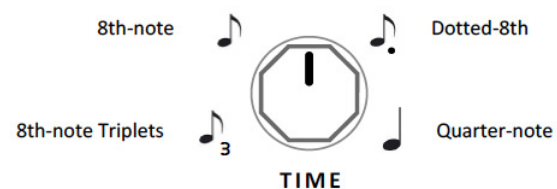
変更前と変更後のプリセットが同じアルゴリズムを使用している場合、プリセットを変更しても残響が途切れません。

■ 異なる BANK にあるプリセットをロードする

1. 「Tap Tempo」を長押しすると Tempo 表示 LED の点滅が止まります。
2. 「Engage」と「Preset Select」を同時に押し、BANK を切替えます。
3. ロードしたいプリセットに辿り着くまで「Preset Select」を押します。
4. 「Engage」を押して、プリセットをロードします。

■ タップテンポ

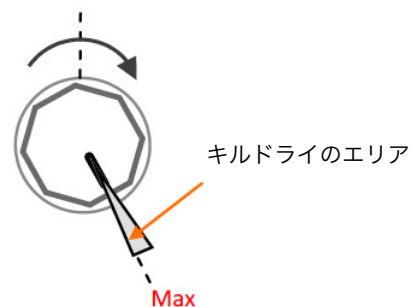
タップテンポで使用するリズムの細分化は、TIME ノブで設定します。



■ キルドライ機能

BLEND を最大 (右いっぱい) に回すと、キルドライが ON になります。

キルドライはエフェクトが ON の時にだけ機能します。
バイパス時はバイパス音が出力されます。



■ エクスプレッション・ペダルでコントロールするパラメーターの設定

エクスプレッション・ペダルでコントロールするパラメーターを4つまで設定できます。

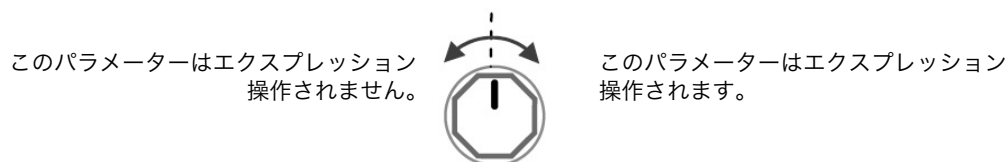
設定はEDITモードで行い、プリセットごとに設定可能です。

1. EDITモードに入る：

「Modes / Edit」を長押しするとMODESのLEDが点滅を始め、EDITモードに入った事を表示します。

2. EDITモードでは4つのノブがスイッチのように動作します：

各ノブ（パラメーター）を12時の位置より右にするとエクスプレッション操作がON、左にするとOFFになります。



ノブの位置を変更すると、エクスプレッション機能も瞬時にON / OFFされます。設定が完了したら、Preset LEDが3回点滅するまで「Engage」を長押しして、プリセットにセーブします。

セーブしない場合は、[Mode / Edit]を長押ししてEDITモードを終了してください。

3. EDITモードを終了する：

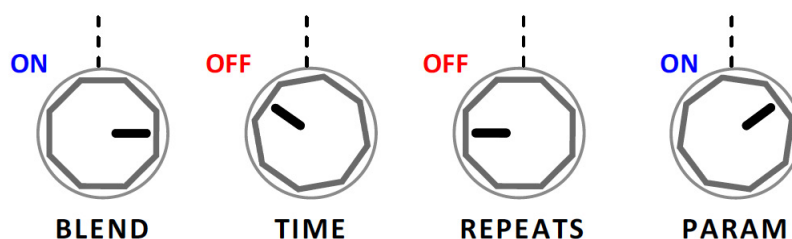
[Mode / Edit]を長押し。

LEDの点滅が消えると通常モードに戻ります。

重要！

起動時に、エクスプレッション・ペダルがEXP/TAP端子に接続されているかが検知されます。接続が検知されない場合、エクスプレッションの機能はオフになります。使用途中でエクスプレッション・ペダルを接続する場合は、本体の再起動を必ず行って下さい。

設定例

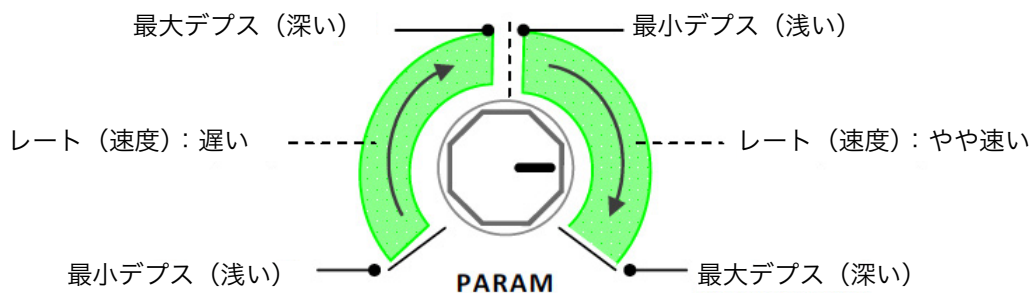


■ Digital (デジタル/赤 LED)

純粋なデジタル・ディレイにモジュレーション機能を足しました。シェイピングでリピート音の音痩せを解消し、クリアなディレイ・サウンドを楽しんでいただけます。

ディレイ・タイム：～960 msec

PARAM ノブはモジュレーションのデプス（深さ）とレート（速度）を同時に操作します。12時の左では遅い速度、右の位置では早い速度のモジュレーション効果が得られます。デプス（深さ）は遅／速それぞれの範囲の中で調整可能です。

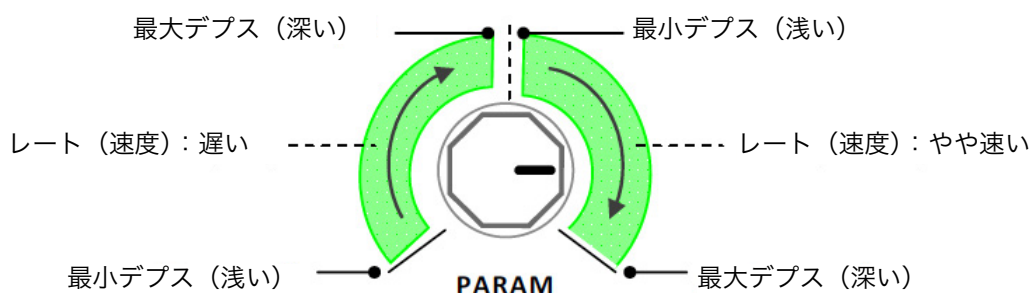


■ Analog (アナログ/緑 LED)

アナログ特有のボイスを再現します。温かさと粗さのあるサウンドが、原音の邪魔をせず、サウンドに厚みを加えます。

ディレイ・タイム：～960ms

PARAM ノブはモジュレーションのデプス（深さ）とレート（速度）を同時に操作します。12時の左では遅い速度、右の位置では早い速度のモジュレーション効果が得られます。デプス（深さ）は遅／速それぞれの範囲の中で調整可能です。



■ Dual (デュアル/青 LED)

2つの独立したディレイをシリーズ／パラレルで組み合わせます。1つのディレイは4分音符、もう1つは付点8分音符に設定されています。ワーシップ・ミュージックの定番サウンドです。

ディレイ・タイム：～800ms



PARAM

PARAM ノブはステレオの拡散量を調整します。
高い設定値では、よりワイドなステレオ・パノラマのイメージが得られます。

■ Diffuse (ディフューズ/黄LED)

ディレイとリバーブのコンビネーション。音符ごとに拡散したサウンドが得られます。
ディレイ・タイム：～800ms



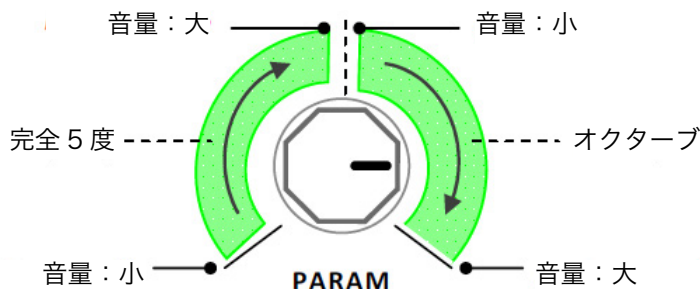
PARAM

PARAM ノブはリバーブのレベルを調整します。
高い設定値では、リバーブの効果が高まります。

■ Ambient (アンビエント/ピンクLED)

ディレイとリバーブの中間の効果が得られます。

リピート音の拡散量が多く、REPEAT を高い設定値にすると、リバーブのようなアンビエント効果が得られます。

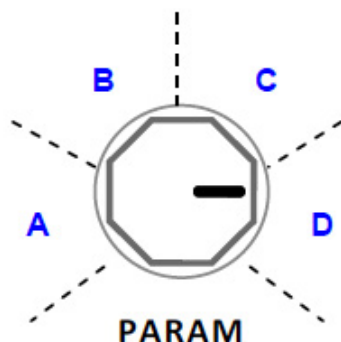


リピート音は2つのステレオ出力間を飛び跳ね（ピンポン）、
ワイドなステレオ・イメージが得られます。
このモードではステレオ接続を推奨します。

このモードではリバーブのように、「アンビエンス+ピッチ変化
+ステレオで展開するリズムグルーブ」で構成されています。
そのサウンド・バリエーションの可能性は無限です。

■ H3 (3ヘッド・ディレイ/水色LED)

3つの再生ヘッドを搭載したテープディレイのモデリングです。入力された信号は異なるディレイ・タイムで3回リピートされ、そのリピート音が再びフィードバック・ループに入力されます。結果、複雑で厚みのあるマルチタップ・エコーの効果が得られます。再生ヘッドの編成は、PARAM ノブを使用して、4つのTAPパターンから選択できます。



テープヘッド編成 (TAPパターン)

- ・ A: パターン I
- ・ B: パターン II
- ・ C: パターン III
- ・ D: パターン IV

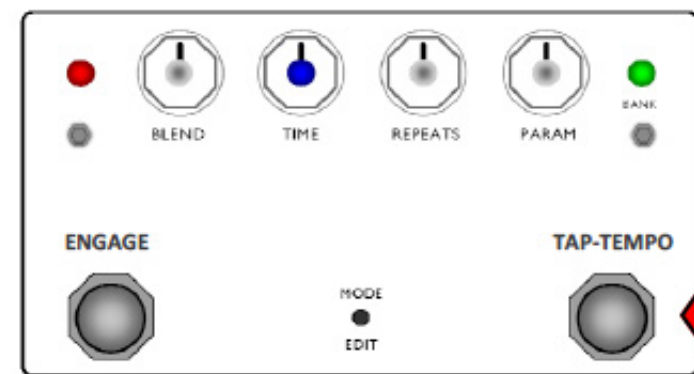
REPEAT の設定値を高くすると、リバーブのようなアンビエンス
効果が加わり、よりワイドなステレオ感が得られます。

■ H4 (4ヘッド・ディレイ/白色LED)

H3の4ヘッド・バージョンです。

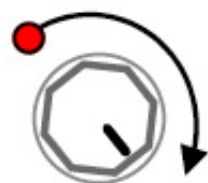
■ オート・リジェン・スウェル

フットスイッチを押している間、REPEATS ノブを操作したように設定値が最大になり、離すと再びノブの設定値に戻ります。

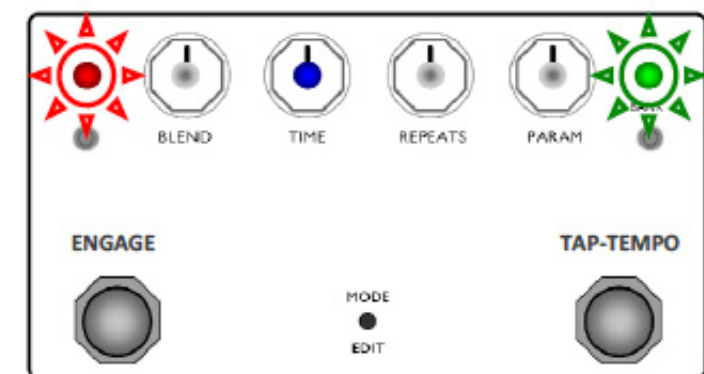


「TAP-TEMPO」フットスイッチを押したままにします。

ノブの設定値



フットスイッチを押すと、ノブをゆっくりと最大値まで回したようにパラメーターが変化します。



このモード発動中、左右のLEDが点滅します。



フットスイッチから足を離すと、ノブの設定値に戻ります。

REPEATS

使用例：

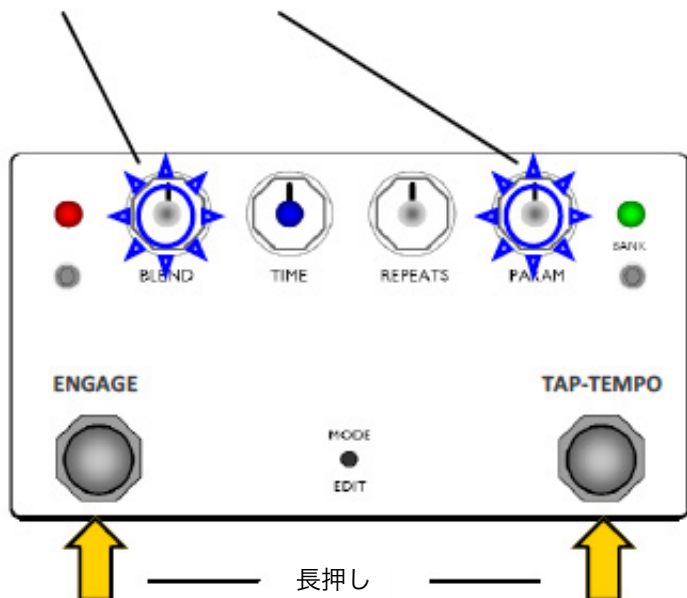
1. AMBIENT モードを開始する。
2. REPEAT ノブを低い設定値（9時方向）にする。
3. BLEND や TIME は好みの位置に設定する。
4. 演奏を始めると、リピート数は少なく再生されます。
5. 「TAP-TEMPO」フットスイッチを押しホールドすると、最大リピートが得られます。

※ この機能は、Exp/Tap 入力に接続した外部スイッチからも使用可能です。

■ ファクトリー・リセット

工場出荷時の状態にリセットします。全てのプリセット情報は消去されます。

1. 両フットスイッチを押した状態で電源を入れて下さい。
2. Preset-1 と Preset-4 の LED が 4 度点滅したらリセット完了です。



■ 主な仕様：

- ・7 種のスタジオ機材レベルのディレイ・アルゴリズム
- ・8 プリセット
- ・外部エクスペッション／タップテンポ用入力端子
- ・ステレオ I/O
- ・キルドライ
- ・24bit シグナルプロセッシング
- ・アナログドライ信号
- ・バイパス時のスプルーオーバー機能

■ スペシフィケーション：

- ・入力インピーダンス：1 M Ω
- ・出力インピーダンス：500 Ω
- ・消費電流：100 mA
- ・重量：500 g
- ・サイズ：120 (L) x 65 (W) x 36 (H) mm
- ・電源：9VDC/100mA (センター・マイナス) ※電源アダプター別売

安全のために

ご使用になる前に、本機の性能をトラブルなく十分に発揮するため、以下の説明を必ずお読み下さい。

警告：次のような場所での使用は出来る限り避けて下さい。

- ・湿度の非常に高い場所
- ・砂やほこりが多い場所
- ・台所、バスルーム、湿気の多い地下室など、水の掛かり易い場所
- ・空気の循環を妨げる場所、ヒーターの近くなど、温度が高い場所

【電源について】

本機は、DC9V アダプターをご利用下さい。

- ※ 9V 以上の電源は絶対に接続しないで下さい。
- ※ センターマイナス以外の極性の電源アダプターや、AC 電源を接続しないで下さい。

品質保証に関して

本製品は GFI SYSTEM 日本総代理店 オールアクセスインターナショナル株式会社が購入後 1 年以内の品質保証を行っております。修理の際は、購入時の保証書（購入期日及び販売店捺印必須）と購入日を証明するもの（販売店レシート、発送時の伝票等）を一緒に提示の上、お近くの GFI SYSTEM 特約店にご依頼下さい。

保証書の提示が無い場合は、保証期間内であっても保証対象対象外とさせていただきます。保証書は大切に保管して下さい。また、全ての商品には、筐体内にシリアル・ナンバーが記入されています。

本書に記載文章、図版、作品は、全て「著作権」及びそれに付随する「著作隣接権」等の諸権利を保有しています。弊社では、内容を理解することを目的とする使用方法のみを許諾しております。

正規輸入品の保証規定に関する詳細は、当社 Web をご参照下さい。

<http://www.allaccess.co.jp/company/warranty/>

AAI

All Access International Inc.

本 社 東京都渋谷区桜丘町 30 - 4 - 404
名古屋オフィス 愛知県あま市四反田 27 番地

お問い合わせはこちら

Mail pedal@allaccess.co.jp

WEB www.allaccess.co.jp